

いんせんでんがんとく

同音異義語

同訓異字 ①

使い分け!

吉橋通夫・文  
たかいよしかず・絵



おいらは絶対逃げられるもんね!

絶体絶命



これでかんぺき使い分け!

同音異義語・同訓異字①



同音異義語・同訓異字って何? 6

あうー会・合・遭・遇 8

あげるー揚・上 10

あついー暑・厚・熱 12

いぎー意義・異義・異議 14

マンガde同音異義語・同訓異字 16

【あいしょう・あく・あらわれる・いこう】

いしー石・意思・意志・遺志 18

うちー内・家・中・裡 20

かいとうー怪盗・回答・解答 38

かいほうー開放・解放・解法・介抱・快方 40

かえるー変・代・替・換 42

かげー陰・影 44

マンガde同音異義語・同訓異字 46

【きげん・きまごう・きしょう・きまごうごう】

かたいー固・硬・堅 48

かんきー換気・乾期・寒気・歓喜 50

かんしょうー観賞・鑑賞・感傷・干涉 52

きかいー機会・器械・機械 54

マンガde同音異義語・同訓異字 56

【こうい・こうえん・こうか・こうき】

きくー利・効・聞・聴 58

きわめるー極・究・窮 60

こえるー越・超・肥 62

ごかんー五感・五官・語感 64

うつすー写・映 22

えきー駅・易・役・液・益 24

マンガde同音異義語・同訓異字 26

【いこう・おす・かいしょう・かいそう】

えんだいー縁台・遠大・演題 28

おさめるー修・収・納・治 30

おりるー降・下 32

かいしんー改新・改心・会心 34

マンガde同音異義語・同訓異字 36

【かいこ・かける・かてい・きかん】

マンガde同音異義語・同訓異字 66

【こうがい・こうかん・こうせい・こうなごう】

こたえるー答・応・堪 68

さくー咲・作・裂・割 70

さすー差・刺・挿・指 72

じしんー自信・磁針・地震 74

マンガde同音異義語・同訓異字 76

【さいかい・さいしん・さめる・しき】

じてんー辞典・事典・自転・時点 78

しまるー締・閉 80

しんちようー身長・新調・慎重・深長 82

すすめるー進・勸・薦 84

マンガde同音異義語・同訓異字 86

【しこう・しじ・しずめる・しゅうしゅう】

すむー栖・棲・住・澄・済 88

ぜったいー絶対・絶体 90

せんかー戦果・戦渦・戦火・戦禍  
そぞうー想像・創造  
マンガde 同音異義語・同訓異字  
「しゅうせい・せいか・せんこう・そつい」

96 94 92

そつー卒・率  
そつこうー速攻・速効・即効・即行  
たいきよくー対局・大局・対極・太極  
たいしょうー対称・対照・対象・大勝  
大賞・大笑  
マンガde 同音異義語・同訓異字  
「たいしよく・たいせき・たいちよう・たま」

106 104

たいせいー体勢・態勢・大勢・体制  
大成  
たえるー絶・耐・堪  
たずねるー訪・尋・温

112 110 108

もっと知りたい!

同音異義語・同訓異字一覧

あたたかい(温・暖)・あてる(宛・充・当)  
あと(後・跡)  
あらい(荒・粗)・いがい(以外・意外)  
いじょう(以上・異状・異常)  
いたむ(痛・悼・傷)・うつ(打・撃・討)  
おかす(犯・冒・侵)  
おくる(送・贈)・おこす(起・興)  
おさえる(抑・押)  
おどる(踊・躍)・おもて(表・面)  
かく(書・描)  
かわく(乾・渴)・かんしん(関心・感心)

142 141 140 139 138

たつー立・絶・起・断・発・経・建  
裁  
マンガde 同音異義語・同訓異字  
「たなか・つぐ・つける・てんか」

116 114

ちゅうしゅうー仲秋・中秋  
ついきゅうー追及・追求・追究  
つくー突・付・吐・点・着・就  
てきかくー的確・適格  
マンガde 同音異義語・同訓異字  
「てんどう・とつき・とつこう・とつじ」

126 124 122 120 118

てきせいー適性・適正・敵性  
てんでんー点・転  
とぶー飛・跳  
とまるー止・泊・停・留  
とるー取・盗・獲・穫・撮・捕・採  
執・撮

136 134 132 130 128

歓心・きようそう(競走・競争)  
きようりよく(強力・協力)・さがす(探・捜)  
さくせい(作成・作製)  
そなえる(備・供)・たいひ(退避・待避)  
対比・たたかう(戦・闘)  
つくる(作・創・造)・つとめる(努・勤・務)  
どうし(同士・同志)  
とく(解・説・溶)・とくちよう(特長・特徴)・ととのえる(整・調)  
さくいん

148 147 146 145 144



どうおん い ぎ ご  
**同音異義語**・  
どうくん い じ なに  
**同訓異字**って何？

おんよん ほんご



なんじやもんじやけん



なんだかんだくん

● **音読みと訓読み**  
漢字には、音読みと訓読みがあります。

漢字辞典を開いてみましょう。たとえば、「位」という漢字を見ると、読みかたには、「イ」「くらい」とあります。カタカナで書いてある「イ」が音読み、ひらがなで書いてある「くらい」が訓読みです。漢字によっては、音読みだけ、訓読みだけの漢字もあります。また、複数の読みがある漢字もあります。

● **音読みって何だ？**

音読みは、中国から伝わった発音がもとになっています。

たとえば「花」の音読みは「カ」。聞いただけではどんな漢字なのか、どういう意味なのか、わかりにくいことが多いのが、音読みです。

● **訓読みって何だ？**

訓読みは、漢字の意味を表す日本語の読みです。

たとえば「はな」のように、聞くことんな漢字なのか、どんな意味なのか、想像できるのが訓読みです。

音読みと訓読みがわかったところで、同音異義語と同訓異字について説明をしましょう。

● **同音異義語ってこんなことば**

同音異義語は、漢字の音読みが同じで、意味がちがうことばのことです。

たとえば、解答と怪盗。どちらも「かいとう」と読みますが、意味がちがいます。このようなことばを、同音異義語といいます。

※ 同じ音読みでも、ちがう漢字のことを「同音異字」といいます。この本では大きく分けて、同音異字も同音異義語としています。

● **同訓異字ってこんなことば**

同訓異字は、漢字の訓読みが同じで、意味がちがう漢字のことです。

たとえば、「花」と「鼻」はどちらも「はな」と読みますが、

意味がちがいますね。こういう漢字のことを、同訓異字といいます。

※ 同じ訓読みで、意味のちがうことばを「同訓異義語」といいます。この本では大きく分けて、同訓異義語も同訓異字としています。

同音異義語と同訓異字を知っていると、文章を書くとき、ことばの使い分けがうまくできるようになります。そして、日本語の豊かさにふれることができますね。

かんせいしん



初登場  
なんだかんだくんの  
いじり  
なんやかんやせん

# あう——会・合・遭・遇



## 同訓異字

### 使いかた

会う…本屋でばったりと、同級生に会った。  
 合う…弟とは好みが合う。  
 遭う…自転車で走っていたら、事故に遭ったんだ。  
 会う…旅行先で、好きなアイドルに会うなんて！

人と人が会う、  
 物と物が合う

近い将来、みなさんの学校は、すべてオンライン授業に変わっているかもしれませんね。学校へ行く必要はなくなり、家でタブレットを見ながら授業を受け、入学式も卒業式も、オ

ンライン。

一度も先生とじかにふれあうことなく、突き棒で押し出されるトコロテンみたいに、ツルツルと学校を卒業させられてしまいます。

そりゃ、便利な面もあるでしょう。でも、これでは、友だちもつくれません。さびしすぎる学校生活だとは思いませんか。

人生は出会いによって決まるといわれます。人のさまざまなお会いが、生きかたのヒントになったり、一生の目標を決めることになったり……。

そんな、人と人があう場合の漢字は「会う」を使います。物と物があうときは、「合う」です。たとえば、「意見が

合う」「計算が合う」などのように。

どちらにすればいいかわからないときは、迷わず平仮名で「あう」にしましょう。



ところで、『未知との遭遇』って、映画を知っていますか。

スピルバーグ監督が、地球人と異星人との出会いを感動的にえがいたSF映画です。

この題名に使われている「遭」は、「事件や災難に遭

う」など、あまりよくないときに使われ、「遇」は、意外な出会いに使われます。

でも、もしこの映画の題名が、「未知との出会い」だったら、どうでしょう。ワクワク感がなくなりますよね。やはり「未知との遭遇」だからこそ、期待に胸をふくらませたのですね。

みなさんにも、いつかそんな「遭遇」があるといいですね。



# あげる — 揚・上



## 同訓異字

### 使いかた

揚げる：お正月にみんなで、たこ揚げをした。

上げる：朝一番にシャツターを上げるのはお父さんの役目だ。

このほか  
挙げる 意味 はっきり分かるように示すこと。

天ぷらもたこも、揚げる！

お正月には「たこあげ」を楽しみますよね。そのときの「あげる」は、「揚げる」を使います。では、天ぷらをあげるときは、どんな漢字を使うのでしょうか。

うか？ 答えは「揚げる」です。

でも、空でおよぐ「たこあげ」も、食べる「天ぷら」も同じ「揚（げる）」だなんて、何か変な感じがしませんか。

「揚げる」の左側にある「キ」は「手へん」といい、「手」の形が変化したものです。おもに、手を使って何かするということ意味ですね。

右側にあるのは「つくり」といい、「易」は、「日があがる」という意味があります。たこ揚げも天ぷら揚げも、手を使ってタコ糸を動かしたり、おはしで油の中から天ぷらをもちあげたりするので、同じ漢字が使われたのかもしれないね。



たった2キロじゃ、上に上げる



おいてくれ！」といいたくありませんか。でも、上から目線の「教えてやる」では、ずいぶんえらそうに聞こえるし、かといって「教えて差し上げる」では、ていねいすぎるので、「教えて上げる」が広まったようです。ペットにごはんを「やる」ときも、家族のように思っているから、「ごはんをあげる」というのでしょね。